

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 胆振西部乳牛検定組合補助金
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	2	職の安全・安心の促進
主要な施策	1	新鮮でクリーンな農水産物の供給の推進
事務事業番号	003	事務事業コード 32121003 事業開始年度 昭和 1 0 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別 一般会計	予算書上の事務事業名 胆振西部乳牛検定組合補助金
-----------	--------------------------

部 名 観光経済部	グループ名 農林水産 G
-----------	--------------

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

対 象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 胆振西部乳牛検定組合(酪農家)
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 胆振西部乳牛検定組合に補助金を交付し活動を支援する。 乳牛固体ごとの乳量や乳成分、飼料効果、繁殖記録などの成績がコンピューターにより解析処理され、これに基づき農家は乳牛群の改良を進めることが出来る。 組合加入農家：6戸 平成21年度 1頭当たり生産乳量：8,641kg 平成20年度 1頭当たり生産乳量：8,617kg 平成19年度 1頭当たり生産乳量：8,923kg
目 指 ず 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 生産者が乳牛検定成績を活用することにより、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛を確保し、酪農経営における生産性の向上を図る。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	1頭当たり生産乳量	kg	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	8,641	/	/	/	
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	429	450	429	429	429	1,287
合 計				429	450	429	429	429	1,287
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	69			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	69			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
酪農経営向上のためには、乳牛群の改良を進め ている胆振西部乳牛検定組合への補助は妥当で ある。			
2. 事務事業の成果について			
成果があがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 んですか？
家畜飼料の高騰等で酪農経営が厳しく、1頭当 たりの生産乳量は昨年と変化はないが、依然高 い乳量を出荷している。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
全酪農家の組合加入を目指し、市と農協等の関 係機関と連携をとり勧誘に努める。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何んです か？
伊達市、室蘭市、登別市、大滝区、豊浦町、洞 爺湖町との共同による事業の運営補助を行って おり、当市のみが補助金の削減を行うことはで きない。			

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	生産者が乳牛検定成績を活用することにより、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛を 確保し、酪農経営における生産性の向上を図る。
-----	----------------------------------	------------------------------------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）